

2020年7月6日

株式会社 スタッフサービス

## スタッフサービスグループの首都圏オフィス施策プロジェクト 7/6 事務職派遣のスタッフサービス、「大崎オフィス」を開設

～「ウィズコロナ」「アフターコロナ」を見据えた「リアルとテレワークの両立」～  
～2025年までに城南エリアで年間10,000件の雇用創出を目指す～

スタッフサービスグループの事務職の人材派遣・人材紹介をおこなうスタッフサービス（株式会社スタッフサービス 首都圏オフィス事業本部、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：阪本耕治）は、2020年7月6日（月）に東京都品川区に「大崎オフィス」を開設します。従来は、秋葉原本社や新宿オフィスなどから、城南エリアにアプローチしてきました。今回の大崎オフィス開設により、城南エリアの事務領域における人材サービスを強化し、企業と求職者のニーズに迅速に対応することで、2025年までに年間10,000件の雇用創出を目指します。



大崎オフィス開設は、「ウィズコロナ」、「アフターコロナ」を見据えた就業環境整備を目的のひとつとした、当グループの首都圏オフィス施策プロジェクトのモデルオフィスです。当グループは、緊急事態宣言時は政府の掲げた在宅勤務率70%を目標とし、宣言終了後は9月30日まで、できる限りの在宅勤務体制をとっています。一方で、法律により、派遣スタッフの登録業務などのため、従業員の出社が避けられない側面があります。これまで出社時は、オフィス内のソーシャルディスタンスだけでなく、営業担当者を中心とした直行直帰などの工夫を続けてきましたが、出社者の調整や業務効率において、不便が生じてきました。大崎オフィスの開設は、営業面の強化だけでなく、働き方におけるマイナス面の解消も目的としております。同時に、大崎オフィスへの従業員の異動に伴い、既存オフィスの「3密」（密閉、密集、密接）の回避にもつながります。

大崎オフィスでは、オフィスエリアと会議エリアの全てのデスクと椅子にキャスター付き可変式タイプを採用しています。オフィスのレイアウトを容易にし、ソーシャルディスタンスだけでなく、グループワークや勉強会などシーンに合わせたレイアウトが可能です。派遣スタッフの面談スペースも常設しており、人の往来にも備えて、面談スペースには飛沫防止パーテーションや検温器、消毒液などを用意するなど、感染症対策にも考慮したオフィスづくりをしております。その他、色彩ある内装や、従業員向けの開放的な多目的スペースを設けています。

城南エリアは、地域密着の製造業やリテール業、外資系金融機関、情報通信業、IT系のスタートアップが多く、取引先との接点を強化します。大崎オフィスは東京都と神奈川県を結ぶ地点にあるため、派遣スタッフの期待に応えるハブ拠点にもなります。テレワーク派遣などのニーズも増える中、求人紹介数を増やし、現在の同エリアにおける年間約5,000件から2025年までに10,000件の雇用創出を目指します。

当グループは、大崎オフィスモデルを秋葉原本社や他拠点に逆輸入することで、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えたオフィスを広げ、新常態（ニューノーマル）においてもリアルとテレワークの両立のもと、雇用機会の創出に寄与してまいります。

### 【大崎オフィス 概要】

名称：株式会社スタッフサービス 首都圏オフィス事業本部 大崎オフィス  
業務内容：事務職の人材派遣・人材紹介業  
開設日：2020年7月6日（月）  
所在地：東京都品川区大崎一丁目6番1号 TOC大崎ビルディング 4F  
電話番号：0120-876-022（派遣登録／人材の募集についてのお問合せ先）

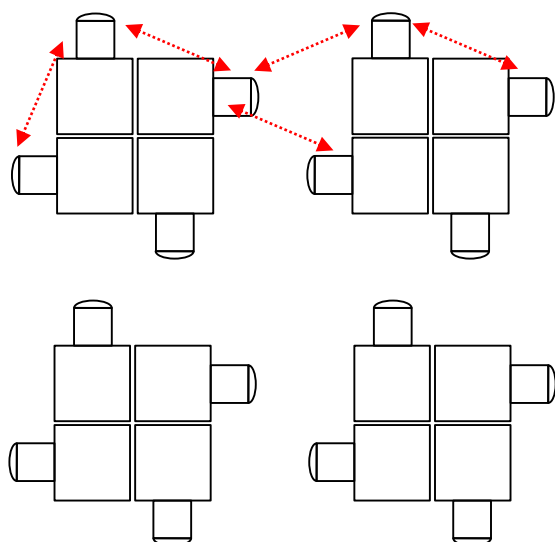
## 【大崎オフィスのウィズコロナ/アフターコロナを見据えたオフィスづくり】

## 1. 執務エリア

- ・デスク、椅子ともに移動が容易な可変式タイプを導入
- ・ソーシャルディスタンスを確保しながら通常勤務やグループワークや勉強会、表彰式などシーンに合わせたレイアウトを実現
- ・さまざまな什器や内装などに色彩のある空間づくり

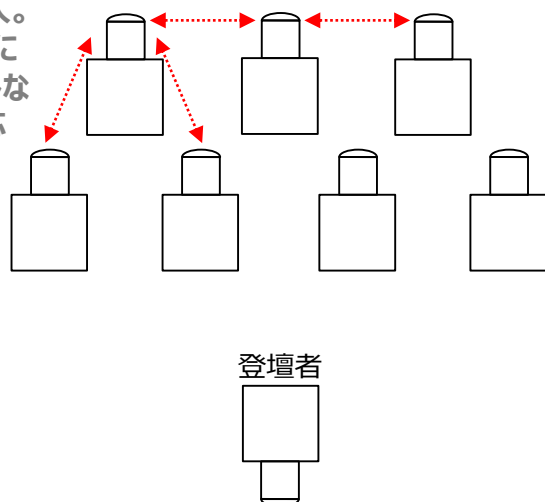
## ソーシャルディスタンス（通常時）

各デスク間は原則2メートル以上の  
ソーシャルディスタンスを確保できる扇形レイアウト



## 社内セミナー・グループワーク時

参加者間のソーシャルディスタンスを確保した  
シアター形式などのレイアウト



可変式什器を導入。  
フロア内のシーンに  
応じたフレキシブルな  
配置変更に対応

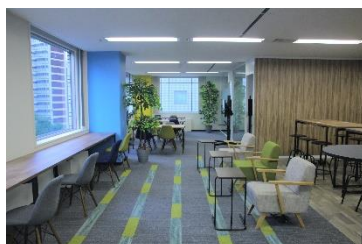
## 2. 面談スペース

- ・飛沫防止パーテーションの設置
- ・入口に検温器を設置
- ・手指のアルコール消毒液を設置



## 3. 多目的エリア

- ・従業員がくつろげるスペース。リフレッシュ、集中業務、電話、ランチなどのシーンに活用
- ・他拠点の従業員も利用可能
- ・カジュアルな会議やイベント会場としても利用
- ・人員増の場合は、オフィススペースにも転用



## 4. 会議室エリア

- ・可変式什器を導入
- ・モニターを用意し、Web会議にも対応
- ・会議シーンに合わせたレイアウト変更
- ・壁面はホワイトボードとして使用でき、映像投影も可能



## 首都圏オフィス施策プロジェクトで目指す「リアルとテレワークの両立」

当グループは、現在、従業員のできる限りの在宅勤務体制をとっています。一方で、法律により、一定の従業員の出社が避けられない側面があります。加えて、営業現場での情報共有やコミュニケーションが希薄になりがち、という面があったため、リアルな職場の再検討を施策に掲げました。派遣スタッフとは、就業先決定やフォローアップなどで寄り添う中で、物理的にも感情的にも近いことは、いざという時の手厚いサポートという安心につながります。取引先においても、様々な業種と接点があり、世の中全体で感染症対策が進みつつある中、リアルが再び有効であるシーンも見えてきました。こうした中、当グループは以下の施策から、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた「リアルとテレワークの両立」を推進してまいります。

- ・リアルな職場の再検討
  - － 従業員のテレワークを推進しつつ、事業所の感染症対策にも配慮し、新常态へ対応
  - － リアルだからこそできる構造・価値の見直しと実現
- ・大規模集約型から中規模分散型へ
  - － 事務派遣領域を皮切りに、派遣スタッフ・取引先に対して物理的にも感情的にも近く
  - － 営業担当者を拠点に戻りやすくし、従業員同士の情報共有・コミュニケーションを強化
  - － サテライトオフィスも活用し、事業継続計画（BCP）も配慮
- ・可変型什器の導入・切替
  - － 従来の島レイアウトによる組織の固定化を排除
  - － ソーシャルディスタンスだけでなく、目的に合わせた自由なレイアウト
  - － 従業員向けの多目的スペースを設置、什器や内装に色彩ある空間づくり

### ■ スタッフサービス概要

社名：株式会社スタッフサービス 首都圏オフィス事業本部  
本部：東京都千代田区神田練塀町85 JEBL秋葉原スクエア  
事業内容：事務職の分野における人材派遣・紹介予定派遣・人材紹介  
対応地域：全国47都道府県  
就業スタッフ数：46,338人（2020年3月現在）  
ホームページ：<http://www.022022.net/>

### ■ スタッフサービスグループ概要

1981年創業。事務職派遣を中心に人材総合サービスを展開。売上高は3,243億円（2020年3月期）  
派遣就業者数は82,671人、派遣登録数は約120万人（2020年3月末現在）

【報道関係者様 お問い合わせ先】

株式会社スタッフサービス・ホールディングス 広報部 野坂・穂原（あきはら）  
TEL：03-5209-7177